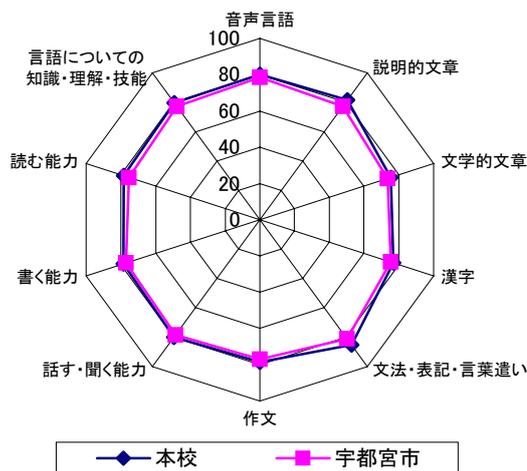


宇都宮市立上河内中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	80.1	78.5
	説明的文章	81.5	77.2
	文学的文章	75.3	73.4
	漢字	76.8	75.3
	文法・表記・言葉遣い	85.5	81.1
	作文	78.5	76.9
観点別	話す・聞く能力	80.1	78.5
	書く能力	78.5	76.9
	読む能力	78.4	75.3
	言語についての知識・理解・技能	79.7	77.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (80.1%)	・正答率が8割を超える状況にある。発表を聞く姿勢がよく、指導者の指示も的確にとらえ理解する力がある。	・聞く力が高まっているので、筋道を立てて話す学習訓練を行いたい。定期テストの出題内容にも、聞き取りテストを継続して入れていきたい。
説明的文章 (81.5%)	・正答率が8割を超える状況にある。授業の中で筆者の主張を的確にとらえたり、段落と段落の関係などをとらえたりすることができる生徒が多い。このため良好な学習成果が出ていると分析できる。	・筆者の主張が、どのような組み立てで述べられているかの分析作業を深めさせ、自分の書く文章に取り入れられるところまで学習を深化させたい。
文学的文章 (75.3%)	・この領域も本市の平均を上回り、良好な学習成果が出ていると分析できる。主人公の心情を理解させるためのワークシートやグループ活動を通しての意見交換をしていることが効を奏したと考えられる。	・主人公の心情を暗示させる表現にも着目させ、優れた文学作品にも触れさせていきたい。長期休業中の課題として、感受性の高い中学生を満足させる作品を読むことに取り組ませたい。
漢字 (76.8%)	・本市の平均は上回っているが、授業中に新出漢字を辞書でこまめに引く習慣が身につけていない。	・漢字の特色に今以上に着目させ、それを応用して文章中の漢字を読みこなす学習訓練をさせていきたい。また授業では、言語学習時に机上に辞書の準備をさせ、いつでも引いて確かめる習慣の定着も図りたい。
文法・表記・言葉遣い (85.5%)	・正答率が8割を超える状況にある。しかし、表記の誤りを指摘したり、主語・述語のねじれのある文章を書きしまったり、課題は多いと考えられる。	・日常の言語活動の中で、より美しい日本語の使い手としての意識を向上させるための教材を開発していきたい。また、行事ごとの感想文の中から、誤用を提示し、どう表現すれば適切だったかを考えさせるなどの学習活動を意図的に展開していきたい。
作文 (78.5%)	・正答率が宇都宮市平均を上回っている。ワークシートを使用し、毎時間書かせる作業を行ってきた成果であると考えられる。	・授業での作文指導をさらに継続させ、自分の考えを適切に相手に伝えるための力を養っていききたい。国語科以外の教科でも新聞への投稿や各種作文コンクールなどへの出品を通して、自信を深めさせたい。